

# 会議報告

## 平成二十六年度作東地域自治振興協議会総会 【五月二十一日】

平成二十六年度活動目標並びに事業計画（概要）

- 1 ふれあいと交流を深める運動
  - ・ひと声運動の展開
  - ・生活環境の美化をすすめる運動
  - ・地域の美化運動
- ① 河川・道路一斉クリーン作戦 7月13日（日）  
各地区で自主的に実施（実施日も各地区の実状で決定  
美化センターに搬入はできません。クリーン作戦ゴミ袋  
に入れて、ゴミステーションに出さずに各地区の指定し  
た場所に集める。
- ② 道路愛護事業（市）やアダプト事業（県）により地域道  
路や河川をきれいにする。
- 3 健康な高齢社会をめざす運動
  - ・健康づくりの推進
  - ① 健康管理のために積極的に総合検診等を受診する。  
総合検診（作東地域）  
日 程：6月20日～6月30日（7日間）  
場 所：作東保健センター
  - ② 作東地域敬老会の実施  
開催日：9月28日（日）  
場 所：作東B&G海洋センター
  - ③ 地区社協を中心に助け合う地域づくりを進める。  
おたがいさまネットワーク事業の推進・実践
  - 4 安全・安心な地域づくり
  - 5 自主防災組織の設立・育成  
「出前講座」の活用、防災訓練の実施。
  - 6 交通安全運動の推進

## 平成二十六年度粟井福祉ボランティアの会総会 【六月十三日】

アダプト事業（県）四月末日が切り。年間2回以上活動。名簿による登録が必要。（保険をかけるため。）年間2万円～3万円以内の補助が受けられる。

粟井福祉ボランティアの会（会長・有友正大、副会長・井上かすみ、高本八重子、会員31名）の総会が行われ、今年度の活動方針等が決められました。

また、美作市社協からは、「おたがいさまネットワーク」の説明もありました。

### ◆基本方針

高齢化した粟井地区において、粟井地区社会福祉協議会「等」と連携して、高齢者が安心して過ごせる、後に続く子ども達が健やかに育っていく心豊かで住みよい村づくりの実現を目指し、生活・福祉課題を解決していくため、身近で出来る活動を展開していく。



### ◆活動計画

1. 粟井地区社会福祉協議会と連携して、「見守り訪問活動」の充実を目指した活動を行う。
  - ・「友愛訪問」活動への協力。  
2月・・・弁当、おやつ（粟井福祉ボランティアの会独自で実施）
  - ・「野菜ジュース」による「見守り訪問活動」  
年2回、7月18日（金）頃、10月（声かけ、救急キットの確認）
2. 粟井地区助け合いセンター  
粟井地区「ちよとだけお助け隊」の運営
3. イベント等に参加要請があれば「粟井福祉ボランティアの会」で検討して対応していく。  
・美作市社会福祉協議会が進める「おたがいさまネットワーク」について、粟井地区社会福祉協議会と協働で検討していく。

## じぶみやき 6

畑のキュウリがそろそろ食べられるようになりました。トマトはもう少し先にならないと色づきません。早くても梅雨明けでしょう。

近年、トマト栽培は雨よけの小型ハウスでの栽培が多くなっています。トマトは水分の取り過ぎで、肥料が効きすぎ大きな葉と茎になります。こうなると花は付いても実は付きません。実が付かないから益々大きくなってしまいます。こうなってしまうえば負の連鎖です。また、高温多湿で疫病が多発です。こうなったら枯れるしかありません。そうならないための雨よけでもあるのです。

品種の改良などでおいしい品種や病気に強い品種が出来ましたが、近年の異常気象にはついていけないようです。しかし、今密かなブームとして、固定種や単位結果の品種が回っています。これらを栽培すれば自分で種が取れますし、受粉しなくても結実します。家庭菜園には面白い品種だと思えますので、一度苗から栽培してみませんか。それになんと言っても、今は高糖度トマトの時代です。これには品種が一番ですが、栽培方法は極度にトマトにストレスを与えるという栽培です。節水栽培などが代表ですが、収量が上がらない・皮が硬いなど弊害も伴います。昔、東京ファーストという品種がありましたが最高の品種でした。今は、日本全国桃太郎ブームですがこの桃太郎、味の良さはファースト種の血が入っているからで、その名残が低温時に先が尖ることに現れているのです。また、ご当地品種として、代表的なのが万善力ブラ（津田カブに似ている）があります。味としてはイマイチですが・・・それになんと言っても、品種ではないが日指しボウでしょう。これは土質とネーミングが非常に良いブランド品です。秋に行われる「収穫祭」の時の販売が楽しみです。【S・A】

## 雑感

### 粟井小学校PTA

粟井小学校は今年度で百四十一年の歴史にて閉校します。江見小学校との統合に半受け入れて頂いた状態です。今年度の教職員（人数）の複式解消、江見小学校との交流、スクールバスの運行、来年度の物品購入負担など、三役としましては来年度江見小学校の役員に粟井から副会長を1名参加し、二十七年がスタートして何か問題などが有れば、保護者、学校、PTA役員の掛け橋に思っています。そして今後は各地区にブロック長（粟井地区1名）が設置されてあります。

その人が、粟井地区村創りの会の中にも有る教育部に属する事により、情報、問題などが伝わりやすくなると思います。また粟井自治振興協議会内に有る、児童生徒支援部の事業部長に保護者の代表者が就任されれば、乳幼児クラブの代表、子供との連携により粟井の子供達の繋がりが保てると思います。そして現在、月曜日に行われているスポーツ少年団ですが、指導されている方との協議、相談になる為、今後の検討課題になります。

粟井自治振興協議会・児童生徒支援部部长  
粟井小学校 PTA会長 松本 智広



### 粟井地区村創りの会主催 「収穫祭」十一月二日（日）

今年度は作東地域「ふるさと祭り」がない年です。そこで、十一月二日、能登香の里小房にて「粟井地区・収穫祭」を計画しています。今から販売物の秋野菜や、特産品、加工品の販売準備をお願いします。テント村の出店にもご協力下さい。収穫祭のアイデアも募集中です。  
「能登香清流米」の袋のデザインも検討中です。湯郷へルと連携してブランド化を図っていく計画です。



### 粟井地区 移住定住促進部の活動にご協力を！

今、粟井地区に移住したいという人が数家族おられます。しかし、空き家の情報が来ません。また、「地域おこし協力隊」の増員も予定しています。今までの「地域おこし協力隊」の増員も望めません。今一度、空き家の情報を下さい。（粟井自治振興協議会・移住定住促進部・安東寿夫）

### 【編集後記】

約半年かけて、やっと粟井地区4カ所の看板が完成しました。「りっぱじゃな」「うれしいわー」と言いに来て下さる人。「ここに花壇を作ろう。」「家にサツキがあるから植えてもよいか。」などなど様々な声が聞かれます。またしても新たな絆が出来、やすらぎの里へと一歩前進です。花壇は役員で作りました。今後の花の栽培や管理は、上杉梶原、小野地区の住民で、下が粟井中地区の住民で管理をしていただけたらありがたいです。県の補助事業、アダプト事業も梶原地区と粟井中地区で検討中です。（来年3月申請予定。）  
粟井地区社会福祉協議会でも「絆」を取り戻す事業「ふれあいの集い」を計画中です。

6月1日「田植え祭り」参加者

